

## バスラ日誌（6月8日）

1 昨日1800から英軍殉職者2名の本国送還式が実施された。5月以降だけで3回目、我々がこちらに来てから5回目である。昨日は、キャンプ・メチカでも伊軍殉職者の葬儀が行われており、実感として、MND（SE）管内の多国籍軍の被害は増えている。また、テロによるイラク人の犠牲者も毎日のように報告されており、治安の悪化が懸念されるところであるが、師団としても逮捕・掃討作戦を継続しており、今が我慢のしどころということだろうか。

2 師団管内の治安悪化の原因には様々な要因があるとは思いますが、根本的な原因ではないとしても、そのうちの1つとして、米軍のあまりにも安易な武器使用があるのではないだろうか。例をあげると、サマワ近傍において、自分が走行車線を間違えて走っていたにも拘わらず、正面から走ってきた対向車（民間人）に対して射撃して重傷者を出したり、タリルにおいて、ゲート付近ではなく、普通の道路を走ってきたトラックが制止の指示を聞かなかったといって直ちにドライバーに危害射撃を加えたり、状況報告書を読んでいると何ということ、というものが時々見られる。米兵が過剰に反応したくなる気持ちに理解できる部分もあるが、報告が非常に遅れたり、報告内容が正確でないことに苛立っているムサンナ県英軍POLADのコメント等もある。先日の朝会議においても、米軍サージャント・メジャーが代行して参加していたのだが、師団長が最近のIED等被害の増加に対策をとるよう指示していると、「先に撃つ」と言葉を挟み、嫌味をにかけていた。因みに彼が、着任教育で「シュート」を連発していた方である。彼はジョークのつもりだったのだろうが、師団管内に所在する米軍警備部隊等の武器使用基準の甘さに、少々困っている英軍関係者にとっては、笑えないジョークであった。

報道では、3件以上の民虐殺事案について調査が始まっていると聞く。いかに高い理想を追求しようとする多くの人が頑張っているが、一部に低いモラルが混在すれば、全体が悪いと見られる。10万人以上も派遣している米軍にとって、軍紀の維持ということも困難な課題なのだろう。

3 米軍の攻撃でザルカウィ容疑者が死亡したというニュース速報が流れている。影響は・・・

本日快晴。カウンターIED研究会参加のためシャイバ。まもなく帰隊予定。バスラ4名、極めて健康。



## スミッティLO日々業務報告(6月8日)

| 区 分       | 内 容  |
|-----------|--|
| 1 警戒態勢等   | 変化なし: Threat Level   |
| 2 特記事項    | サマーワ市内等の治安情勢に関して重点的に情報収集を実施  |
| 3 本日の業務   | (1) 情報要求対応等<br>サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断<br>(2) 各種業務調整等<br>THREAT ZONE MAP関連、明日以降の豪軍支援要請関連、MND(SE)副師団長等サマーワ宿営地訪問関連、豪軍要望事項関連、サマーワ宿営地ジェネレーター整備関連等<br>(3) 各種ミーティング等<br>英豪軍作戦会議参加 |
| 4 明日の予定   | (1) 情報要求対応等<br>(2) 各種業務調整等<br>(3) 各種ミーティング等  |
| 5 その他(備考) | 明日の射撃訓練<br>RANGE3:英軍(小火器) 0800~1400  |